

第4回青森県社会教育委員の会議 会議概要

日時	令和元年7月29日(月) 14:00～16:00
場所	青森県庁議会棟1階A会議室
出席者	<p>《 委員 》敬称略 5名 永澤 正己 工藤 貴子 松本 大 廣森 直子 岩本 美和</p> <p>《 事務局 》 4名 葛西 浩一(生涯学習課長) 大島 義弘(生涯学習課 企画振興グループ 主任社会教育主事)他2名</p> <p>《 その他 》 3名 伊藤 明德(学校教育課 課長代理) 川村 真慶(総合社会教育センター 育成研修課長) 三浦 博明(生涯学習課 地域連携推進グループ 主任社会教育主事)</p>
内容	1 開 会 2 教育長挨拶 3 案 件 (1) 調査項目、調査内容について (2) 実地調査の割り振りについて (3) その他 4 閉 会
配 付 資 料	次第・青森県生涯学習審議会委員名簿・座席図 資料1 実地調査について(案) 資料2 調査項目について(案) 資料3 調査シート(案) 資料4 実地調査対象施設について 資料5 実地調査先希望一覧及び割り振りについて(案) 資料6 調査研究のデザイン(方向性)について 資料7 聞き取り調査日程調整票 <参考資料> 1 第3回会議での調査研究に係る意見 2 実地調査対象施設の事業・取組について

会 議 の 内 容

1 開 会

(内容省略)

2 教 育 長 挨 拶

(内容省略)

3 案 件

議長 本日で実地調査前最後の会議となるので、実地調査での共通する内容を今回で確定させたいと考えている。それでは、次第に従って進行する。まずは案件（1）調査項目、調査内容について、事務局から説明していただきたい。

事務局より、資料について説明。（資料1～3）

議長 事務局から説明があったが、まずは資料1から確認したいと思う。調査対象の施設については、前回の会議で候補とした12の施設を実地調査の対象とすることで確定してよいか。

⇒特に反対意見はなく、12の施設を対象に実地調査を行うこととした。

議長 次は調査の方法について確認したいと思う。ご意見があればお願いしたい。

委員 29期と30期の社会教育委員を務めた経験がある。その時の実地調査では、1施設に対して3～4名で聞き取り調査を行った。事務局から提案のあった2名1組の実地調査では、どちらか1名が急用で行けなくなった場合、事務局から職員1名は同行するが、残りの1名で調査を行うこととなり負担が大きい。実際、29期と30期では、急用で行けなくなる委員もいたので、今回の実地調査においても3～4名で聞き取り調査を行う方がよいと考えている。

議長 2名1組ではなく、3～4名での調査ということで提案があったが、事務局としてはどうか。

事務局 予算的などころを考慮すると2名1組が基本線となる。丁寧に日程調整を行い確実に2名1組で実地調査を行えるようにしたいと考えている。ただ、追加で調査に同行したいと考えている委員もいると思うので、近くの施設の調査を同日に行うなどの調整を行うことで、1施設3名以上となった場合でも多少は対応できると考えている。

委員 仕事柄、急な会議が入り、都合がつかなくなる可能性がある。また、調査は1人だけではなく、複数の目を見た方がより深い調査になると思う。1人で調査を行う可能性をできるだけ低くするため、3名で調査を行う形で進めた方がよいと考える。

事務局 2名1組とした案は、調査に最低限必要な人数としての2名ということ、予算との兼ね合い、さらに事前の調査では希望の少ない施設もあったことを総合的に判断

して2名1組で割り振りを作成したが、急に行けなくなった場合に委員が1名になってしまうので、3名1組を基本線として考えていただければと思う。

議長 事務局から3名1組で調査を行ってはどうかという提案があつたが、いかがか。
⇒賛成意見が多く、3名1組で実地調査を行うこととした。

議長 調査シートは、調査を行った委員全員が提出すればよいか。

事務局 調査シートの最終ページにある各委員の感想と分析は、全員提出する必要があると思う。それ以外については、代表者が提出する形でもよいかと考えている。

委員 29期・30期では、各委員が提出したものを事務局が集約していた。代表者1名の提出では、委員間で提出前に確認が必要になり、負担が大きい。それぞれの委員が感じたことや考えを提出すればよいと考える。
⇒協議の結果、各委員が調査シートを提出することとした。

委員 調査シートに関して、枠全体に記入して提出するとなったときに、記入する文章量が多いように感じる。項目数はそれなりにあつた方が、調査はしやすいと思う。

議長 調査シートは、記入用と提出用とで分けて考えた方がよいのではないか。

委員 同様のシートを調査対象施設にも送るのであれば、記入量が多いと施設側も負担が大きいと思う。

委員 調査を行う施設へは、調査シートではなく調査項目を伝えるということによいか。

事務局 調査対象の施設へは、調査シートを送らず、調査項目のみを伝えて、回答の準備をしてもらえればよいと考えている。

委員 調査項目についてだが、普段仕事を行っている中だけでは、「新たな時代に求められる社会教育施設の役割」など、回答を準備しにくいものもあるように感じる。聞き取りでの質問を通じて、回答を引き出してもよいのではないか。

また、「利用者について」は、「利用者について把握するために何をしていますか」「どのような人たちが集まってきているか」など、具体的に聞く方が、どのような人たちを対象に事業の企画を立てているかの手がかりを知ることができると思う。この内容については、調査項目の中の「人づくり・つながりづくり・地域づくりのための工夫や手応え」と合わせて伺うことができるので、調査項目を整理することができるのではないか。

議長 調査項目の整理についての話があつたが、調査項目の(5)～(7)については、まとめてもよいかと考える。(5)「人づくり・つながりづくり・地域づくりのための工夫や手応え」を削除し、聞き取り調査全体の内容を通して分析することとし、また、(7)の「新たな時代に求められる社会教育施設の役割」も削除し、(6)「今後、新たに組み込んでいきたいこと」の中で合わせて伺うことにしてはどうか。

委員 調査を行う施設が回答を準備しやすい調査項目になればよい。

議長 (8)の「利用者について」は、「反応や変化」「つながり」などについては、回答が難しいところもあると思うので、「特色ある利用団体について」という聞き方でよいと考える。

⇒特に反対意見はなく、(5)「人づくり・つながりづくり・地域づくりのための工夫や手応え」(7)の「新たな時代に求められる社会教育施設の役割」は削除、(8)は「特色ある利用団体について」に変更することとした。

議長 調査の方法に関して、他にご意見があればお願いしたい。

委員 調査シートについての確認になるが、記入する文章量は枠全体を埋める必要はあるか。施設によっては、枠全体を埋めるほどの回答が得られない可能性もあると思うが。

議長 この調査シートはメモと考えるので、必ずしも枠全体が埋まっている必要はないのではないかと。また、各委員は実地調査後、調査シートを事務局に提出することになるが、清書する必要あるのか。

事務局 清書して提出するかどうかは、各委員の判断でよいと考えている。

議長 調査シートについては、枠全体を埋める必要もないし、何を書くかについても委員の裁量で判断して記入するということがよいか。

⇒特に反対意見はなく、記入する内容については各委員が判断することとした。

委員 聞き取り調査の録音は行うのか。

事務局 報告書をまとめる段階での確認のため、施設の担当者の了解を得たうえで、録音する予定である。必要に応じて、委員の皆さんに音声データを提供することも可能である。

議長 録音データを文字起こすところまでの必要はないと考えるので、各委員は聞き取り調査で見聞きした内容を率直にまとめていただければと思う。

議長 調査項目や調査シートについて、他にご意見があればお願いしたい。

委員 (4)「特色ある事業・取組について」は、特色のある事業・取組ごとに聞いていくということになるが、最初の段階として、何が「特色のある事業・取組」なのかを確認する必要がある。また逆に、たくさんあるところでは、選ぶ必要が出てくる。

委員 担当職員の意見は、その際重要になると考える。

議長 「たくさん人が集まる」ということもポイントになる。それなりに「人が集まっている」事業・取組でなければ、調査の対象とすることが難しいということになるので、ある程度の確認は事前に必要だと考える。また、図書館は事業がないので、聞き方を工夫する必要がある。

委員 「特色ある事業・取組について」は、資料4に記載されている調査のポイントをもとにして聞くのか、それ以外のポイントについて聞けばいいのか。

議長 私としては、調査のポイントを検討したうえで、「特色ある事業・取組」については、こちらで指定して調査する方がよいと考える。例えば、浪岡野沢公民館であれば、「浪岡野沢小学校・野沢公民館祭」について話を聞けば、経緯や内容について回答してくれると思うので、足りない項目があれば、その内容を補えばよい。

事務局 資料4は、事務局で特色のある活動内容をピックアップして、施設ごとにまとめたものである。実地調査を進めていくにあたっては、資料4の内容を参考に、こちらで「特色ある事業・取組」を指定し、さらに調査項目についても事前に対象の施設に伝えて、回答の準備をしてもらうことでスムーズに聞き取り調査を行えるようにしたいと考えている。また、指定した「特色ある事業・取組」については、事前に委員の方にもお知らせするので、補足で聞きたい調査項目や別の「特色ある事業・取組」があれば事前に準備していただくことで、漏れのない聞き取り調査を行えると考えている。

⇒反対意見は特になく、指定した「特色ある事業・取組」を含む、主だった調査内容を事前に調査対象の施設と委員に伝えることとした。

(休憩)

議長 続いて、案件(2)実地調査の割り振りについて御意見をいただきたいと思う。資料について、事務局から説明していただきたい。

事務局より、資料について説明。(資料4・5)

議長 まずは資料4について検討したいと思う。「特色ある事業・取組」として、何を調査対象施設に伝えるのかを検討する必要があるが、会議時間に限りがあるので、12施設すべてについて、この会議の中で「特色ある事業・取組」をピックアップするのは難しいと考えるがいかがか。

事務局 まずは事務局で「特色ある事業・取組」をピックアップして、後日、委員にお諮りするのだろうか。

議長 「特色ある事業・取組」については、私も意見を出したいと思う。事務局と私とで原案をつくり、その後、調査に行く委員とで調整するのはどうか。
⇒反対意見は特になく、了解が得られた。

議長 続いて、資料5の調査先の割り振りについて検討したいと思う。本日、出席している委員の中で、希望があれば伺いたいのがいかか。1施設ごとに3名1組を基本線として、1人あたりの制限は設けないことにしたいと思う。

議長 まずは、希望の少なかった施設について、検討することとする。
⇒協議の結果、五所川原市中央公民館、六戸町中央公民館、八戸市立根城公民館、八

戸市立図書館について追加の希望があった。

議長 その他の施設については、事務局で原案を作成するというだけでよいか。
⇒反対意見は特になく、事務局で原案を作成することとした。

議長 それでは、案件（3）その他ということで、今後のスケジュールについて事務局から説明をしていただきたい。

事務局より、今後のスケジュールについて説明。（資料6・資料7）

4 閉会

(内容省略)